

迎春



町の更なる発展と

町民一丸となった

まちづくりを目指して

月形町長 上坂 隆一

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

新しい年を町民の皆さまとともに迎えられることを心からお慶び申し上げますとともに、日頃から町政の運営に対し特段のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、いまだ終息の兆しが見えないロシア・ウクライナ情勢の影響により、日本国内においても日用品を含めあらゆる資材・物品の値上げが繰り返されるなど、私たちの生活に多大な影響を及ぼしており、1日も早い終息が望まれるところです。

3月に開催されたワールド・ベースボール・クラシックでは、北海道日本ハムファイターズの監督であった栗山英樹氏率いる侍ジャパンが3大会ぶり3回目の制覇を成し遂げました。特にアメリカとの決勝戦では、月形町応援大使でありました大谷翔平選手が胴上げ投手になり、日本中が歓喜に包まれました。大谷選手は、メジャーリーグのレギュラーシーズンでも活躍し、打者として44本塁打を放ち、日本人選手初の本塁打王を獲得したほか、MVPを2度目となる満票で受賞するという史上初の快挙を収め

ました。また、来季はドジャースに移籍しますが、10年で総額7億ドル（約1015億円）という、スポーツ史上最高額での契約となりました。「野球界のために努力し続けたい」と語る大谷選手を今後も応援します。

新型コロナウイルス感染症については、昨年5月からは5類感染症に位置付けられ、私たちの生活がようやく平常に戻ってきていますが、日頃からの基本的な感染対策については、引き続き継続することが望まれるところです。

昨年4月、本町は町制施行70周年の節目の年を迎え、11月2日には、町の更なる発展と町民一丸となったまちづくりに取り組み、明るく豊かな郷土の建設に邁進する決意を新たにすため、町制施行70周年記念式典を挙行了しました。

本町の基幹産業である農業につきましては、猛暑による影響から全般的に収量が減少するなど、農業者の方には苦勞の多い年であったと思います。本年は、災害が発生することなく、良い天候に恵まれ、豊穡の秋が迎えらるることを心からお祈りいたします。

JR札沼線の一部廃線に伴い譲渡を受けた土地については、希望する農業者を先行し順次譲

渡を進めております。また、10月には石狩月形駅跡地に町道が完成し、地域の皆さまの利便性向上に繋がったところです。

現在改修中の町民保養センターについては、温泉施設の機能向上を図るとともに、道の駅登録に向け準備を進めています。今秋のリニューアルオープン以降は、皆楽公園エリアを町の観光拠点とし、温泉、宿泊、飲食の3つの機能を安定的に継続させて、皆楽公園エリアが持つ多様な機能とサービスで、集客を図ってまいります。

義務教育学校については、令和9年度の開校を目指し、現在基本設計を行っているところであります。また、昨年6月には、義務教育学校開校準備委員会を設置し、開校までに決定しなければならぬ学校名、校歌、校章など多くの事項について協議を進めているところです。

本町を取り巻く社会情勢は依然として厳しい経済状況ではありますが、農業、商工業振興について、月形町農業協同組合、月形商工会と連携しながら、町の発展・振興に努めてまいります。また、国が推奨するデジタル技術を活用して、住民の利便性を向上させる施策についても、取り組んでまいります。

結びになりますが、本年が町民の皆さまにとって健康で喜びに満ちた実り多き1年であり、災いのない年になりますことを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

副町長

堀 光一

教育長

古谷 秀樹

迎春



町民の皆さまに身近な

議会を目指して

月形町議会議長

大釜 登

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございませう。

令和6年の新春を迎え、月形町議会を代表いたしまして、心からお慶びを申し上げます。

また、町民の皆さまには、常日頃から議会活動に対しご理解とご協力をいただき、更に温かいご支援を賜りまして、心から感謝を申し上げます。

昨年4月の統一地方選挙では、本町議会においては無投票、かつ、1名欠員の7名で新体制のスタートを切ったところですが、少数ながらも議会活動を行ってきました。

さて、昨年を振り返りますと、まず、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となったことが、ここ数年での大きな社会的変化かと存じます。3年以上も続くコロナ禍からようやく日常を取り戻しつつあり、街中にはマスクをしていない人の姿も増えてきました。

反面、長引くロシアのウクライナ侵攻などにより、燃料や資材の高騰、物資調達の困難が続き、国民生活に多大なる影響を与えています。ほかにも海外では、トルコ・シリアの大地震での甚大な被害、イスラエル・パレスチナの対立

ではガザの病院が空爆を受けるなど、衝撃的なニュースが記憶に残っています。

国内では、ビッグモーターの不正請求、相次ぐクマ出沒による被害などが記憶にあります。が、WBCで侍ジャパンが3大会ぶり3回目の優勝、大谷翔平選手が日本人で初のメジャーリーグホームラン王のタイトル獲得、藤井聡太竜王・名人が史上初の八冠制覇などの明るい話題もありました。

北海道での大きなニュースと言えば、ラピダスの千歳進出が挙げられるかと思いますが、北海道の北海道ボールパークの開設と併せて栄える地域がある一方、北海道医療大学の移転計画は当別町民に不安を与えるほか、隣町である本町にとっても少なからず影響があるのではないかと懸念されます。

昨年は記録的な猛暑となり、本町のみならず各自自治体で学校へのエアコン設置やクーリングシエルトの開設が話題になったところです。こうした異常気象による作況への影響や国の施策である水田活用の直接支払交付金の厳格化による影響は、本町の基幹産業である農業に不穏な影を落としています。

このほかにも町民の皆さまが不安に思うことなど色々あるかと思いますが、そういった声を直に聞く懇談の機会を設けることが、新型コロナウイルス感染症の影響でできない状況が続いていました。今後は懇談の機会を増やし、その結果、国や道に働きかけるなど議会としてできる限りの活動を行っていきたいと考えています。

また、日常生活ではパソコンやスマートフォン の普及によりデジタル化が進み、その技術が身近なものとなってきました。自治体においても様々な場面で急速にデジタル化が進みつつあります。最近では、チャットGPTなど生成AIの活用などもよく話題となっており、その進歩は目覚ましいものがあります。本町議会としても取り入れられるツールがあればそれを活用しながら、町民の皆さまに関心を持っていたけるような情報発信に努めていきたいと考えています。

結びに、新しい年が町民の皆さまにとって、健康で喜びと幸せに満ちた実り多き年となりますことを心からご祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

副議長 我妻 耕

議会運営委員長 松田 順一

まちづくり常任委員長 東出 善幸

議員 金子 廣司

議員 若井 昭二

議員 滝口 伸